平成２６年１月１４日

様

三陸沿岸道路の整備に関する
要　望　書

貫通した志津川トンネル（仮）
（リアス・ハイウェイ女性の集い委員会現場見学会）

気仙沼市・南三陸町

気仙沼・南三陸地方三陸沿岸道路整備促進協議会

気仙沼・本吉地方リアス・ハイウェイ女性の集い委員会

要　　望　　書

東日本大震災から２年１０か月が経過し，三陸沿岸の市町村では，被害の爪痕が今なお色濃く残されている中，悲しみを乗り越え，全力で復旧・復興へ邁進しています。

このような中，震災復興のリーディングプロジェクトとして，三陸沿岸道路の迅速な全線事業化が図られ，さらには新規事業化後１年を待たずして即年着工されたことは，復興への確かな道標として，被災地に希望と勇気を与えてくれました。その取り組みにあらためて感謝とお礼を申し上げます。

三陸沿岸地域は，これまで，高速交通網整備の立ち後れが，産業や観光などの発展の阻害要因となってきました。復興にあたって，産業の再生と雇用の確保，住居の再建など喫緊の課題が山積する中，三陸沿岸道路の供用による物流の効率化や交流圏域の拡大，救急医療や防災機能の拡充等の整備効果は，復興を加速させる最も大きな力であり，早期供用は必要不可欠であります。

私たちは，三陸沿岸道路を最大限に活用し，安全・安心で豊かに暮らし続けることの出来る郷土を目指し必要な取り組みを進めていく所存であります。

このようなことから，高速交通網の地域間格差を是正し，三陸沿岸地域の早期復興を図るため，次の事項について強く要望いたします。

記

１．「復興道路　三陸沿岸道路」の整備推進

(1) 平成２７年度供用予定の登米志津川道路及び工事の進んでいる本吉気仙沼道路Ⅰ期区間の１日も早い供用を図ること。

(2) 南三陸道路及び本吉気仙沼道路Ⅱ期の用地補償及び工事の推進を図ること。

(3) 平成２３年度新規事業化区間の歌津本吉道路，気仙沼道路及び唐桑高田道路の整備推進を図ること。

(4) 気仙沼道路に計画されている気仙沼湾横断橋の整備については，地域のニーズや意見に留意しながら，復興のシンボルとして整備を図ること。

２．「復興道路　三陸沿岸道路」の役割・機能強化

(1) 三陸沿岸地域の復興をリードする事業として，　地域の復興まちづくり支援や，防災機能強化に配慮した整備推進を図ること。

３．「真に必要な道路予算の確保」

(1) 地域にとって必要不可欠な三陸沿岸道路の整備を着実に推進するため，復興道路等の予算を十分確保し，優先的かつ継続的にその財源を投入すること。

　更に，高速道路から生活道路や避難道路も含め，地域が真に必要とする道路整備の計画的かつ着実な推進を図るとともに，防災・減災対策や適切な維持管理が行えるよう必要な道路関係予算を全額確保すること。

平成２６年１月１４日

気仙沼・南三陸地方三陸沿岸道路整備促進協議会

会　長　気仙沼市長　　菅　原　　茂

副会長　南三陸町長　　佐　藤　　仁

気仙沼・本吉地方リアス・ハイウェイ女性の集い委員会

委　員　長　　齋 藤　幸 枝